

令和3年度進行管理・評価シート
東御市歴史的風致維持向上計画（平成24年6月6日認定）
（最終変更 令和4年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1「東御市歴史まちづくり庁内連絡会議」による関係課間の横断的な連絡調整 「東御市歴史的風致維持向上計画協議会」との連絡調整	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画との連携	2
2 重要伝統的建造物群保存地区との連携	3
3 歴史かおるまち海野宿景観形成住民協定との連携	4
4 屋外広告物に関する規則との連携	5
5 東御市農業振興地域整備計画との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 海野宿伝統的建造物修理事業	7
2 伝統的建造物小規模修理事業	8
3 空き家情報登録制度(空き家バンク)	9
4 海野宿ふれあい祭開催補助金	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用 文化財の修理(整備を含む)	11
2 文化財の保存・活用を行うための施設	12
3 文化財の周辺環境の保全 文化財の防災	13
4 文化財の保存および活用の普及・啓発 埋蔵文化財の取り扱いの現状	14
5 文化財の保存、活用に関わる住民、NPO等各種団体	15
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	16
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 地域住民による海野宿にぎわいづくり事業の実施	17
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	18

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
①「東御市歴史まちづくり庁内連絡会議」による関係課間の横断的な連絡調整 ②「東御市歴史的風致維持向上計画協議会」との連絡調整		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 「東御市歴史まちづくり庁内連絡会議」を設置し、関係課(事業担当課)間の横断的な連絡調整を行う。
なお、必要に応じて、「東御市歴史的風致維持向上計画協議会」との連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①「東御市歴史まちづくり庁内連絡会議」開催状況
建設課・教育課・商工観光課の連携の下、頻繁な打合せにより計画の推進を図った。
- ②「東御市歴史的風致維持向上計画協議会」開催状況
R4.2.10に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となりました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■ 東御市歴史まちづくり庁内連絡会議

関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行う。
年間を通して横断的な打合せを実施した。
○建設課 ○教育課 ○商工観光課

法定協議会への協議状況

○東御市歴史的風致維持向上計画協議会

開催日: 令和4年 2月10日(木)

場所: 東御市役所本館2階 全員協議会室

議題

- ・歴史的風致維持向上計画の進捗について

上記のとおり開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となりました。

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度
都市計画との連携		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

国道18号上田バイパス結節点の整備を進め、重点区域内の交通環境の改善に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

海野宿の北側に位置する国道18号は、かつての北国街道に代わる地域の主要道路として現在に至っているが、交通量が多く、迂回路として海野宿内を通行する車両が多い。国道18号バイパスは当地域の交通量を大きく緩和する計画道路であり、海野宿の良好な景観形成を保つために重要な役割を果たすものである。本年度は関係区で構成する「上田バイパス建設促進委員会」と連携して、国に対して2回の予算確保に向けた要望活動を行うとともに、地元住民に対し広報紙を配布して事業の進捗状況を周知し、事業促進に向けた取り組みを進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

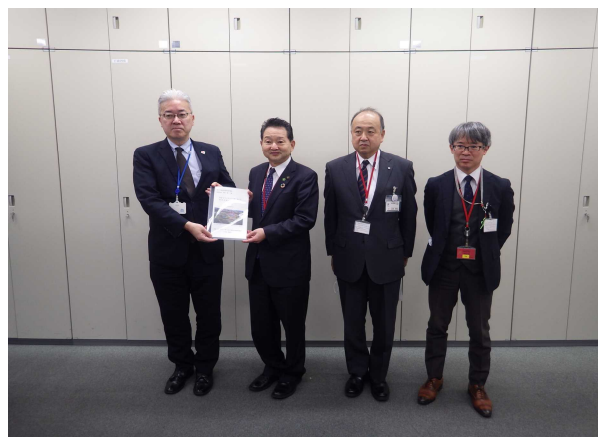
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



R3.10.19(火)国道18号上田バイパス第二期工区
建設促進期成同盟会 長野国道事務所要望



R3.12.3(金)国道18号上田バイパス第二期工区
建設促進期成同盟会 中央要望

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 海野宿伝統的建造物群保存地区を対象に、「伝統的景観区域」及び「歴史的風致区域」に設定した区域について、街道沿いに建つ主屋、その他道路から望見できる屋根裏の蚕室、物置などの伝統的建造物および環境物件が伝統的要素を失うことのないように修理、修景、復旧に努めている。また屋根裏に広がる農業景観はできる限り現状の景観を維持し、併せて生活環境の整備を行い、歴史的環境づくりにふさわしい整備計画の推進に取り組んでいる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存地区の重要事項について調査審議するための諮問機関である東御市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、建造物や環境物件の修理、修景、復旧事業の推進を図った。
 開催実績: R3.8.2(月) ・ R3.12.20(月)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

東御市伝統的建造物群保存地区審議会 開催実績

○第1回

開催日 令和3年8月2日(月)

報告事項

- (1) 令和3年度国庫補助事業について
 (2) 現状変更行為の許可状況について

審議事項

令和4年度国庫補助事業の対象物件について

○第2回

開催日 令和3年12月20日(月)

報告事項

- (1) 令和3年度国庫補助による修理事業の進捗状況について
 (2) 現状変更行為の許可状況について

審議事項

- (1) 令和3年度国庫補助による修理事業について
 (2) 特定物件の変更について



R3.8.2(月)東御市伝統的建造物群保存地区審議会

評価軸②-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
歴史かおるまち海野宿景観形成住民協定との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
重点区域内の海野宿伝統的建造物群保存地区を対象に、建築物や屋外広告物、緑化等についての基準を定めている。今後も、この協定を引き続き維持していくとともに、重点地区を対象としたまちなみルールや景観計画の策定等、良好な景観形成に向けた取り組みを検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

住民協定により、毎月の道路・水路清掃や年間3回の街路樹剪定により、良好な景観が保たれている。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

歴史かおるまち海野宿景観形成住民協定		
協定に係る区域	東御市本海野区海野宿（海野宿伝統的建造物群保存地区 13.2ha）	
協定者	歴史かおるまち海野宿景観形成住民協定運営委員会（113名）	
認定日・認定番号	平成8年3月13日 第31号	
主な基準	建築物等	建築物は隣地境界よりできるだけ後退（伝統的建造物は除く）
	屋外広告物	自己用広告物のみ（高さ2.5m以下、表示面積1個当たり1.5㎡以下、3個まで、張り紙・張り札・立て旗は原則として設置しない、木製が基本、反射光及び動きのある光源は使用しない）
	緑化	空地はできる限り緑化する、街路樹のシダレヤナギの維持管理に努める
	自動販売機	原則として設置しない
	その他	道路、水路及び敷地内の美化に努める



住民協定により良好な景観が保たれる海野宿のまちなみ

評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
屋外広告物に関する規則との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 東御市では、長野県屋外広告物条例に基づき、平成16年4月より、東御市屋外広告物に関する規則を定めており、今後は規則の周知に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長野県の「屋外広告物適正化旬間」の趣旨に賛同し、「屋外広告物表示禁止物件一斉点検」を実施した。
R3.9.2(木) 参加人数 3名 (市、市民団体、警察、県等)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

屋外広告物表示禁止物件一斉点検のこれまでの実績

屋外広告物一斉点検		除去物件	参加人数
実施年度	月日		
24	9月10日	はり紙3 はり札3 立看板1 その他4	12
25	9月10日	はり紙7 立看板3 その他14	11
26	9月11日	はり紙3 のぼり旗18	10
27	9月17日	なし	8
28	9月5日	なし	9
29	9月5日	なし	9
30	9月5日	なし	6
元	9月5日	なし ※口頭による是正指導2件	8
2	9月3日	なし ※口頭による是正指導1件	10
3	9月2日	なし	3

評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
東御市農業振興地域整備計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 当市は平成27年7月に「農業振興地域整備計画」を策定している。行政区域の約半分が農業振興地域に指定されており、市重点区域では約11.7haが農用地区域に指定されている。農用地については、住宅建設等により減少している状況にあるが、今後も安全な農産物の安定供給に必要な農地を確保し農地流動化の推進や農地の高度利用、農地の持つ多面的機能の維持増進に努め、農業の振興を図るべき地域を明確化し、秩序ある土地利用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年に実施した度農業振興地域の中見直しにより、文化財を活用した新たな都市農村交流の方針が明示された。海野宿は宿場町から蚕室へと変貌していったまちなみが色濃く残っており、景観保持に努めつつ、新たな都市農村交流のための拠点として今後も活用が検討される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



重点区域南側の農地の様子

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
海野宿伝統的建造物修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 S62年～

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用整備費補助金(文化庁)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区における修理修景事業に対し補助を行う。海野宿は重要区域の特徴的なまちなみである。そのため、伝統的建造物の保存修理等を行い、建造物の維持を図ることで、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

個人所有の建造物に対する補助(間接補助)を行い、建造物の修理修景等による建造物の維持を図った。
R3: 間接補助事業7件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

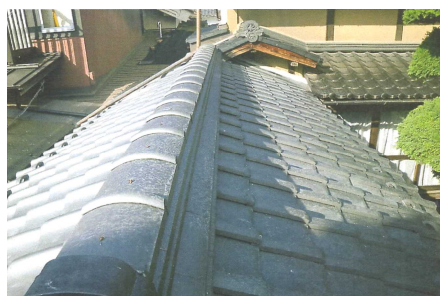
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



内容

- ・個人所有
- ・酒蔵修理
- ・漆喰補修



内容

- ・個人所有
- ・渡り廊下修理
- ・瓦葺き替え

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
伝統的建造物小規模修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 S62～

支援事業名 東御市単独事業

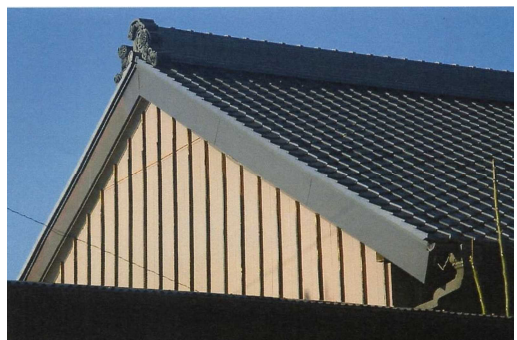
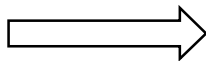
計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の小規模及び緊急修理に対し補助を行う。海野宿は重点区域の特徴的なまちなみである。そのため、伝統的建造物の保存修理等を行い、建造物の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

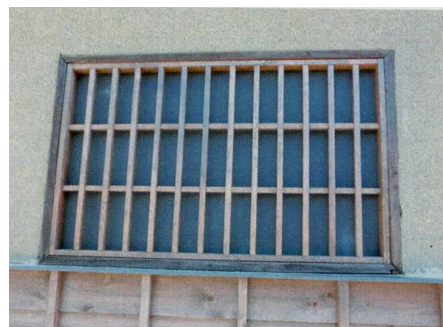
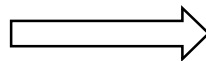
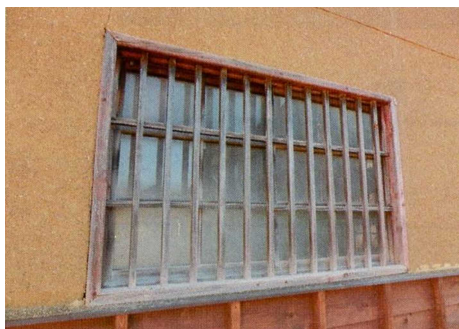
R3: 4件
 白鳥神社社叢枯れ枝伐採、主屋外壁補修2件(個人宅)、台所窓格子補修(個人宅)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



個人宅 主屋の外壁補修



個人宅 台所の窓格子補修

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
空き家情報登録制度(空き家バンク)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 H23～

支援事業名 東御市単独事業

計画に記載している内容 住民が市内に住居を所有しているけれども現在居住していない住居について、所有者から情報提供を受け、東御市内へ定住又は定期的に滞在することを目的とする者にその住宅を紹介し、売買もしくは賃貸の仲介を行うことにより、空き家の減少を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1 空き家登録状況
 空き家登録件数 20件 (R3年度新規登録件数 11件)
 空き家情報利用登録数 98人 (R3年度新規登録者数 30人)

2 契約成立件数
 6件 (累計契約成立 108件)

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 重点区域内でもこの制度を活用し、空き家の減少を図る。
--	--

状況を示す写真や資料等

登録年度	新規登録件数	保留	登録手続中	抹消件数	契約成立件数			年度末件数
					賃貸	売買	合計	
H23	17	0	0	2	3	5	8	7
H24	12	0	0	1	3	2	5	13
H25	14	0	0	1	3	7	10	16
H26	15	0	0	6	5	8	13	12
H27	19	0	0	5	3	6	9	17
H28	15	0	0	4	1	7	8	20
H29	21	0	0	7	1	10	11	23
H30	20	0	0	5	4	9	13	25
R元	19	0	0	10	4	11	15	19
R2	17	0	0	7	2	8	10	19
R3	11	0	0	3	1	5	6	20
累計	169	0	0	51	30	78	108	

登録年度	新規登録者数	新規登録者住所			抹消件数	年度末登録者数
		市内	市外	県外		
23	54	14	15	25	1	53
24	32	10	10	12	6	79
25	42	12	13	17	55	66
26	37	5	12	20	23	80
27	63	18	16	29	39	104
28	35	6	11	18	38	101
29	46	16	15	15	57	90
30	33	7	8	18	41	82
31	24	9	6	9	50	56
2	45	13	19	13	32	69
3	30	8	11	11	1	98
累計	411	118	136	187	343	

R4.3.31時点

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
海野宿ふれあい祭開催補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 H3～

支援事業名 東御市単独事業(市補助)

計画に記載している内容 海野宿の歴史と文化を市民及び観光客に宣伝するとともに、ふれあい祭実行委員会が行う恒例の時代衣装行列や花嫁道中、手作りのほうとう、くるみおはぎの販売等に対し支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

台風19号災害により被災した海野宿橋及び海野宿第1駐車場の復旧工事が未完了であり、更には新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度に引き続き令和3年度も中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

・海野宿ふれあい祭開催のため、地元における実施体制の検討。
 ・After・Withコロナ時代を見据えた、海野宿における観光振興体制の構築。

状況を示す写真や資料等



令和4年2月撮影

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
文化財の保存・活用 文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・未指定文化財については、調査を継続的に実施し、その現状や価値を適切に判断しながら、一定の基準を満たすものについては、新たに文化財指定を行うこととする。
- ・重点区域においては、その中核をなす海野宿伝統的建造物群保存地区について、平成16年告示(当初は昭和61年告示)の保存計画に基づき整備を進めていく。
- ・海野宿において保存地区の状況の把握に努めるとともに、現状変更の必要が生じたときは、保存計画に定める方針・基準に従い、東御市伝統的建造物群保存地区保存審議会の意見を聴き、国宝・重要文化財等保存整備費補助事業を活用し実施していく。
- ・重点区域においては、海野宿内のまちなみの保全に取り組み、伝統的建造物を対象とした修理事業に継続して取り組む。その際、伝統的建造物群保存地区保存審議会への諮問を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新たな市指定文化財の指定に向けた調査と、文化財保護審議会での審議を進める。

東御市伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催状況は、[伝統的建造物群保存地区との連携 P3]参照
重点区域の修理事業は、[海野宿伝統的建造物修理事業 P7]参照

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度は、コロナ過の影響により思うように活動ができなかった。

状況を示す写真や資料等

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の保存・活用を行うための施設として、海野宿歴史民俗資料館、玩具展示館、東御市和記念館、東御市北御牧郷土資料館、東御市田中資料館、カヌーの生家が設置されており、訪れた観光客が地域の歴史文化に触れ合う機会が提供されている。今後は、これらの資料館の相互の連携を図り、展示内容の質を上げていくことを検討する。
- ・歴史的価値のある建物を含め、市全体で空き家が増加しつつある中で、今後は市が借り手と貸し手との間に入ることで、空き家の減少に努めていく。
- ・歴史資源による回遊性の向上に向けて、色調やデザインの統一を図った案内・説明板を継続的に設置していく。
- ・市の中心的な観光拠点である海野宿のさらなる活性化に向けて、重点区域を回遊するコースを設定するとともに、地域資源の情報を来訪者に発信することに努める。
- ・より多くの人が海野宿を訪れることができるよう、新たな駐車場を含むアクセス環境の整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・東御市文書館における古文書の公開状況 公開古文書数:5,836点
 ・「文書館通信」を発行し、文書館において配布するとともに、市ホームページに掲載することで普及を図った。

・平成29年度に実施したアンケート結果等による「売却や賃貸等、他人に活用してもらうことを考えている空き家」の動向の内、海野宿における結果を抽出しHP等での公開できるようNPO法人海野宿トラストとの協議を開始。

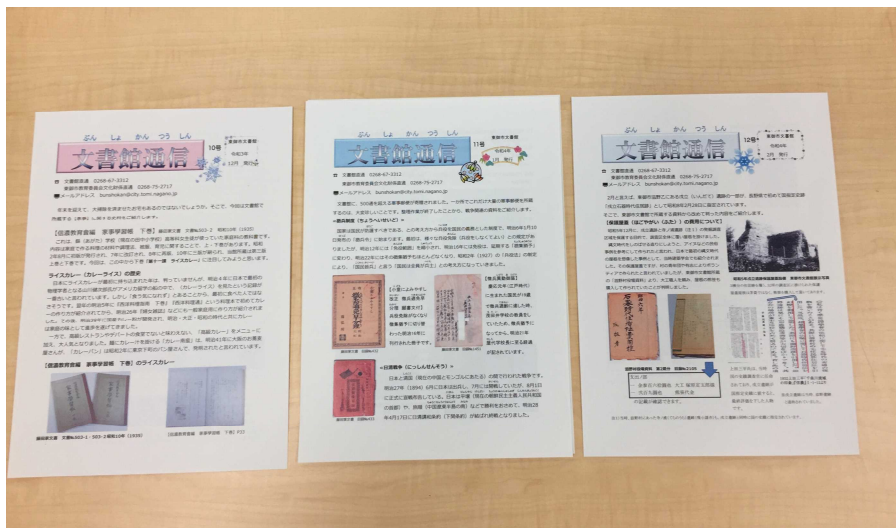
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあつての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後は空き家の活用を進めていくため、情報発信や近隣住民の理解を求めていく活動をNPO法人海野宿トラストと進める。
 また、(一社)信州とうみ観光協会と連携し、HP等での情報発信等を行っていく。

状況を示す写真や資料等



文書館通信

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
文化財の周辺環境の保全 文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	・盗難、き損等についても、地域住民との協働によるパトロール等を通じて未然に被害を防ぐように努める。 ・重点区域の海野宿において、毎年9月1日の防災の日に合わせ、災害時の連絡体制の確認、避難訓練、消火訓練の講習等を実施している。それ以外の文化財は、毎年1月26日の文化財防火デーに合わせ、地区ごとに防災訓練をしており、意識高揚を図っている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・文化財パトロール(長野県、東御市教育委員会、文化財所有者との連携(長野県主催)) 実施日:R3.10.13(水)、対象:市内の国、県指定文化財、実施箇所数:11箇所 ・文化財防火デーに伴う立ち入り検査(上田地域広域連合消防本部、東御市教育委員会、文化財所有者との連携(東御消防署主催)) 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 ・文化財防火デーに伴う火災想定訓練(上田地域広域連合消防本部、東御市教育委員会、文化財所有者、地域住民との連携(東御消防署主催)) 令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止 ・パトロールや訓練等の際には、施設設備の点検や文化財のき損等の有無を確認するとともに、防犯対策に努めました。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
文化財の保存および活用の普及・啓発 埋蔵文化財の取り扱いの現状			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・地域住民やまちづくり団体等との協働による学習機会の設置に取り組む。
- ・歴史的風致として設定している柵津地域において、地域の祭礼行事等の無形文化財について、小中学校の児童・生徒が積極的に参加している状況を踏まえ、今後も伝統的な行事の維持に向けた支援を行っていく。
- ・重点区域において、毎年先進地視察を開催し、地域住民が文化財保護活動に参加する機会を提供している。
- ・埋蔵文化財については、保存を前提とした対応に努め、開発等が行われる場合は、事前に文化財保護法に基づく申請を受け、協議を行い、埋蔵文化財への影響を極力回避する。それでも文化財への影響を免れない場合は、発掘調査を実施し、記録保存を図るなど適切に対応していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和3年度における文化財保護法第93条・94条に基づく申請・協議件数 307件(令和4年3月末現在)
- ・発掘及び試掘調査実施件数 10件(令和4年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



中通遺跡 試掘調査の状況



西前田遺跡 弥生時代後期の竪穴住居跡



伊勢原遺跡 試掘調査の状況

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用に関わる住民、NPO等各種団体		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>・地域の歴史・文化を保全する上では、建造物や周辺環境の保全に限らず、伝統行事を継続することが重要であり、文化財の保存・活用に関わる活動団体等に対する支援を行っていく。</p> <p>・重点区域においては、ボランティアガイドと有料ガイドによるまちなみ案内が行われている中で、各ガイドの説明内容の質的向上に向けた講習会等の開催を通じて、一体的な案内活動が行えるような体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>・「白鳥神社例祭」に併せて開催される「海野宿ふれあい祭」についても、地域住民が積極的に関わる中で地域の活性化に大きく寄与していることから、継続して活動できるような支援を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・市指定文化財については、所有者・管理者・地元保存会等と業務委託契約を締結し、管理業務の委託を実施(単年度契約)した。 R3実績 15団体</p> <p>・海野宿地域観光ガイドによるガイド活動((一社)信州とうみ観光協会事業) R元.4～R元.12 104件、2,837人が利用</p> <p>・NPO法人海野宿トラストが海野宿のまちづくりに関する事業を行い、地域の活性化に寄与することを目的として発足。 海野宿トラストの活動実績は[文化財の保存・活用を行うための施設 P12][地域住民による海野宿にぎわいづくり事業の実施 P17]参照</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
指定文化財管理委託先 一覧			
	文化財の名称	委託先	委託開始年月
1	西宮歌舞伎舞台	西宮区	H17.4～
2	東町歌舞伎舞台	東町区	H17.4～
3	旧和学校校舎	旧和記念館管理委員会	H17.4～
4	力士雷電生家	雷電生家管理委員会	H17.4～
5	戊立石器時代住居跡	原口寿会	H17.4～
6	春原家住宅	春原家所有者	H17.4～
7	春原家住宅消防設備	東御市消防団第四分団第一部	H17.4～
8	塚穴古墳	片羽末広会	H17.4～
9	王墳古墳	曾根区	H17.4～
10	横山西の塚古墳	寺坂区	H17.4～
11	祢津遊歩道	祢津遊歩道整備委員会	H17.4～
12	オオルリシジミ	北御牧のオオルリシジミを守る会	H19.4～
13	アケボノゾウ化石	アケボノゾウの会	H23.4～
14	北御牧地区文化財	北御牧地区文化財史跡管理委員会	H23.4～
15	ミヤマシロチョウ	浅間山系ミヤマシロチョウの会	H23.4～

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 令和3年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
八重原用水 映像で後世に	令和3年6月16日	信濃毎日新聞
北御牧小学校児童に、八重原用水開発の祖「黒澤嘉兵衛」の偉業などをまとめた”動画”を寄贈！	令和3年6月18日	東信ジャーナル
東御の海野宿橋、2021年度内に復旧完了の見通し 台風19号で崩落	令和3年7月22日	信濃毎日新聞
東御市の滋野小学校通学区の片羽支部が「歴史探検ツアー」を開催！児童の夏休みに合わせて実施。	令和3年8月8日	東信ジャーナル
東御市の「とうみ歴史研究会」が発足！初の「地域の歴史講座」開催！市外からの入会希望者も多く参加	令和3年10月27日	東信ジャーナル
東御市祢津で「巫女の姿で祢津を歩く」試み！ノノウの歴史に思いを馳せ。	令和3年11月28日	東信ジャーナル
2021信州ニュース追跡②東御・上田進む台風被害からの回復	令和3年12月21日	信濃毎日新聞
雷電の故郷でも関心の的 道の駅に手作り星取表	令和4年1月22日	信濃毎日新聞
春の海野宿を竹灯籠で照らす 東御で製作体験会 2月13日まで毎週末に開催	令和4年1月23日	信濃毎日新聞
大関御嶽海 雷電以来227年の誉れ ゆかりの東御も祝福	令和4年1月27日	信濃毎日新聞
千葉・佐倉で「雷電祭」御嶽海大関昇進で脚光 続く「長野とのご縁」	令和4年2月11日	信濃毎日新聞
御嶽海関と雷電の特別セット商品を限定販売 227年ぶりに信州出身の大関誕生にちなみ、東御の道の駅「雷電くるみの里」	令和4年2月18日	信濃毎日新聞
御嶽海関昇進で注目 雷電たたえる石碑を生家へ 東御市がクラウドファンディングを計画	令和4年2月26日	信濃毎日新聞
東御の海野宿橋が復旧 台風19号で被災 住民「ひと安心」	令和4年3月2日	信濃毎日新聞
雷電でPR 東御市役所で紹介パネル展示	令和4年3月12日	信濃毎日新聞
雷電と御嶽海関 信州出身2大関、時を超えた名勝負 東御で巨大紙人形が対決	令和4年3月13日	信濃毎日新聞
竹灯籠が彩る海野宿を見に来て あす19日から 4月には「祭り」も	令和4年3月18日	信濃毎日新聞
雷電の石碑、東御市が移転中止 文化財保護審が反対	令和4年3月24日	信濃毎日新聞
東御の御柱祭 「密」を避けて構成に 里引きの人数減らし	令和4年3月30日	信濃毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政主導、住民主体の取り組みとともに頻りに報道されている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

地域住民による海野宿にぎわいづくり事業の実施

計画に記載して
いる内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 「インスタフォトコンテストin海野宿」の実施
 - ・主催 NPO法人海野宿トラスト
 - ・開催期間 令和3年9月18日(土)～11月30日(火)
 - ・内容 台風19号災害からの復興を目的とした「インスタフォトコンテストin海野宿」を企画・実施。
- 「海野宿ひな祭り」の実施
 - ・主催 NPO法人海野宿トラスト(海野宿ひな祭り実行委員会)
 - ・開催期間 令和4年3月19日(土)～4月10日(日)
 - ・内容 海野宿の街道沿いの民家へ雛人形を展示、夜間はライトアップを実施。
- 海野宿滞在型交流施設「うんのわ」で「ワンディシェフランチ」の実施
 - ・主催 一般社団法人信州とうみ観光協会
 - ・開催期間 令和4年1月～3月の土日
 - ・内容 「うんのわ」の飲食棟を活用し、週毎にシェフが代わる「ワンディシェフランチ」を実施。
- 「竹灯籠」によるライトアップの実施
 - ・主催 一般社団法人信州とうみ観光協会
 - ・開催期間 令和4年3月19日(土)～4月17日(日)
 - ・内容 市内の不要な竹を活用し、ワークショップなどを開催して竹灯籠を作成。海野宿の街道沿いに約350本の竹灯籠を設置し、ライトアップを実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

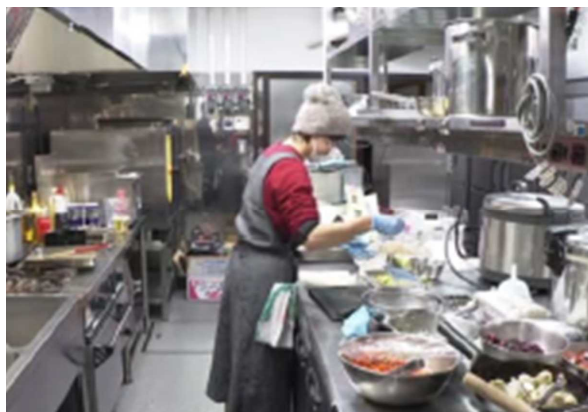
状況を示す写真や資料等



インスタフォトコンテストin海野宿の実施



海野宿ひな祭りの実施



ワンディシェフランチの実施



竹灯籠によるライトアップの実施

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第12回東御市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時 令和4年2月10日(木) 午前10時から	
(コメントの概要) ・上記のとおり開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となりました。	
(今後の対応方針)	